

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぶちスマイルファクトリー		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 3月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 15
○従業員評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 3月 25日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	園や自宅への送迎を行うことで利用児童の現状を把握できる。 もし不安定な状況だった場合はその前に何が合ったのかの原因をすぐに確認でき、対処しやすい環境にある	幼稚園、保育園へお迎えの際に利用児童の現状をお話するようしている。お互いで困ったこと、支援方法などを共有するようになっている	送迎時間がタイトのため、お話できる時間などが少ない場面も見られる。余裕を持った職員体勢や時間を持って対応していきたい
2	こどもの発達にあった小集団での活動ができています	こどもの“できた”が積み重ねられるよう工夫をし、プログラムを作成している	プログラムの偏りがあるため、新しいプログラムを増やしていきたい
3	事業所内の情報共有や関係機関との連携が取りやすい	当事業所は放課後デイサービスもあるため、小学校にあがる前から交流が来ている	事業所内だけでなく、美浜区の他事業所にも相談できる環境ではあるので、もっとお互いに共有できるよう検討していきたい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族等も参加できる行事や保護者会などが行われていないため、保護者同士の交流の機会がない	保護者会や行事の参加などの呼びかけを行っていない	保護者会の開催を検討や行事内容をオープンにし、保護者が参加しやすいような発信を検討していく
2	地域との交流が不足している	幼稚園や保育所、保護者に対し、当事業所が何の事業所なのかという情報が広がっていない。当施設の名前だけでなく情報を発信していく必要がある	保護者からもっと早くから当施設を知りたかったという意見もあったので、もっと情報を発信していきたい。チラシ・SNSなどで呼びかけを行ってきたい
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ぶちスマイルファクトリー

公表日 2025年 4月 1日

利用児童数 16

回収数 15

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	1	2		・インスタグラム等で見るだけだが広く 子どもが遊ぶには十分 ・事務所はコンパクトに感じるが公園や お出かけで沢山身体を動かしている様子 で助かる ・狭いと感じる	活動のたびに環境整備（机や設備の移動）を行い、活動しています。またご意見を頂いた中にもありましたが、外出活動を行い、子どもたちが息苦しくない環境にしています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11			4		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	13		2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12			3	送迎を利用しているとあまり行く機会がないので分からない	活動終了後に室内清掃及び消毒を行っています。空調設備や加湿器なども使用し、過ごしやすい空間づくりをしています。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12			3	手を使った工作の活動が多いと聞いていたがまだ通い出したばかりなので子供に あっているか分からない	対象のお子様の発達状況に応じた活動内容を考え、楽しく学べるように支援しています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13	1		1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14			1		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	1		4		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12			3	まだ通いだしたばかりで分からない	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12			3		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	8		2	5		
保護	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	1				
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14		1			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	1	5	6		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12		1	2		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12		3		まだ入所1か月なのでしていない。	面談は定期的に行っています。対象の時期になりましたらお知らせいたします。また面談時期に関わらず、保護者の方に必要性を確認し、その都度対応することとしています。

者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	1	1	2		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3		5	7	まだ入所1か月なのでしていません。	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13			2	LINEでの相談でも丁寧に対応頂き、助かった	今後もLINEやSNS、電話などで気軽に情報共有できる環境を整えていきます
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	1		1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13			2		
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8		1	6		
非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10			5		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11			4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	1		3		
	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14			1	・安心して通所できている。親としても安心して預けられる。	ご意見を参考にし、今後も引き続き維持できるよう努めていきます
満足度	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	1		1	・保育園に行きたくなくてもぶちには行きたがる ・ぶちの写真を見せると早く外に出たいような反応をみせてくれる。 ・いつも楽しく通っている	ご意見を参考にし、今後も引き続き維持できるよう努めていきます
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	1			・子どもに合わせてプログラムや療育を組んでもらっているので満足している ・急な利用時間変更などにも対応して頂き、ありがとうございます。	ご意見を参考にし、今後も維持満足して頂けるよう努めていきます

従業員向け	児童発達支援評価表
-------	-----------

○本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動人数や活動内容のたびに環境整備（机や設備の配置替え）を行っています
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用人数に応じて、職員数を増やしています
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		必要箇所に手すりをつけ、認識しやすい色の踏み台を設置しています。ドアに手が挟まないようにドアクローザーやフィンガーアラートを設置しています
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		活動終了後に室内清掃及び消毒を行い、空調設備や加湿器なども使用し、過ごしやすい空間づくりをしています
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室としても使用できる空間を用意しています
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		PDCAサイクルを行い、全員が意見やアイデアを出しやすいように職員ミーティングをしています
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		児童の支援前、支援後に職員ミーティングを行っています
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		事務所内研修だけでなく、外部研修にも積極的に参加しています
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員間で共有し、毎日の活動プログラムにも反映しています

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		施設内には標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントはありません。しかし外部機関等で検査をされている方に対しては保護者の了承を得て、結果を参考にさせて頂いています。保護者面談や関連機関による情報、日々の支援内容の記録、連絡帳により常に情報を確認しています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		子どもの特性に合わせ対応プログラムを構成しています
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		利用日、利用児童ごとに支援記録をし、検証や改善につなげています
	23	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		
関係機関や保護者と	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者了承の元、お子様の活動の様子を見て頂く場合もあります
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		ただし情報の開示のご要望があった場合についてはその限りではありません
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				

の 連 携	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答)			相談支援事業所意見交換会などに参加し、地域の情報収集、意見交換を行っています
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		当施設は運動場がないため、近隣の地域資源(公園や運動施設)を利用することが多く、そこで他の子どもと一緒に活動することがあります
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		ご利用時の活動の様子は連絡帳及び送迎時に直接お伝えしています。定期的に保護者面談やアンケートを行っています
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	ペアレントトレーニングができるよう研修は受けていますが、まだ研修の機会を設けることが出来ていません	
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用負担などあれば通知を行い、分からない場合はLINEやTELなどでも説明をさせて頂いています
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	保護者会を検討予定しています
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		Instagramにて毎週活動内容等をアップしています
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		伝達ツールを用いて、意思疎通や情報伝達を行っています
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		年度初めに必ず確認シートを記入いただき、把握しています。都度変更があれば、連絡帳にて報告頂いています。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	現在指示書が必要なほどのアレルギーを持つ児童がおりません
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		